

株主の皆さまへのご報告

第65期 中間期

平成26年4月1日～
平成26年9月30日



サトーをより良くご理解いただくために――



あくなき創造で持続可能な社会を



サトーホールディングス株式会社
www.sato.co.jp 証券コード: 6287

株主の皆さまにおかれましては、
平素より格別のご高配を賜り、心より厚く御礼申し上げます。
当中間期の業績及びこれからの取り組みについてご説明申し上げます。



代表取締役執行役員社長
兼 最高経営責任者 (CEO)

松山 一雄

Q 当中間期の業績について教えてください。

—— 消費増税に伴う景気減速により国内事業は苦戦しながらも前年同期並みを確保、海外事業は計画どおり進捗しました。

当中間期は、売上高が前年同期比103.1%の475億円、営業利益が同102.4%の30億円、四半期純利益が同93.8%の17億円^(※1)となりました。

国内事業では、ハードウェア製品の販売が好調に推移しましたが、消費増税に伴う駆け込み需要の反動や景気減速による経済活動の伸び悩みでリテール、食品、ロジスティクス分野のサプライ製品の需要が停滞し、苦戦を強いられた結果、売上高、営業利益は前年同期微増となりました。

一方、海外事業では計画どおりに進捗し、前年同期と比べて増収増益(売上高109.9%、営業利益115.2%)を達成しています。米州では、北米でグローバル戦略機の「CL4NX」をはじめとしたハードウェアの販売が大きく伸びており、米州全体の業績をけん引しました。昨年度、ようやく黒字化を果たした欧州も順調に推移しており、営業利益率が前年同期の2.2%から5.9%に上昇するなど収益力も改善しています。アジア・オセアニア地域のみ、SATO VICINITY 社^(※2)への先行投資費用が増大したため営業利益が前年同期を下回りました。

Q 2014年度業績目標の達成に向けて、どのように取り組んでいくのでしょうか？

—— 重要施策を着実に実行することで、上期の減益を挽回していきます。

好調な海外事業をさらに伸ばしていくため経営資源を重点配分するとともに、「グローバル化と顧客価値の最大化を追求すること」を基本戦略とした重要施策を着実に実行していきます。

国内では、ロジスティクス、公共、ヘルスケア分野でかねてより進めていた複数の大口商談が、成約する見込みです。加えて、市場動向や顧客ニーズに基づいて開発した以下の製品・ソリューションを今年リリースしており、引き合いも増えていますので、この商機をしっかり捉え成果につなげます。

- 日本初となる iPod touch^(※3)を利用したウェアラブル型倉庫荷揃えシステム
(p.4に詳細をご紹介しています)
- 中小規模の食品業のお客さまのご要望から生まれた、部分導入型の製造管理システム
- 化学品の輸出入に関する国際基準の厳格化に対応する、クラウドを活用した化学品総合管理ソリューション

海外では、グローバル戦略機の拡販注力と並行し

て、ソリューション提案力を深化しながら国際的にビジネスを展開する重要顧客(=グローバルキーアカウント)一社一社との強固な関係構築をはかってまいります。

- 今年4月に世界同時発売したグローバル戦略機「CL4NX」プリンタの拡販強化
- 新興国に高いプレゼンスを持つ当社グループ会社ARGOX社が、共同開発したプリンタのOEM供給を開始
- 食品設備機器事業、乳製品事業、運輸・倉庫業などのグローバルキーアカウントに対するソリューション商談が進行中

国内外ともに商談が増えており、これらの需要にお応えすることで、通期目標である売上高1,000億円、営業利益80億円の達成を目指します。

Q 2014年度の配当について教えてください。

—— 2円増配し42円(当中間期20円、期末22円)とする予定です。長期的・安定的な増配に努めています。

当社は、企業理念の一つである「四者還元」のとり、事業拡大のための内部留保とのバランスを考えながら、株主の皆さまに対して安定的且つ継続的に配当を実施することを基本方針としています。

株主の皆さまにおかれましては、変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

- (※1) グループ会社からの配当金増加による配当源泉税の増加、及びSATO VICINITY社の販売拡大のための先行投資費用増大などによるものです。
- (※2) 2013年12月にMAGELLAN TECHNOLOGY社のRFID事業を譲り受けSATO VICINITY社をオーストラリアに設立。
- (※3) iPod touchは、Apple社のアメリカ及びその他の国における登録商標、または商標です。

● 2014年度中間期の業績

▶ 売上高

47,566 百万円 前年同期比 **103.1%**

▶ 営業利益

3,018 百万円 前年同期比 **102.4%**

▶ 経常利益

3,171 百万円 前年同期比 **99.4%**

▶ 四半期純利益

1,776 百万円 前年同期比 **93.8%**

● 配当金の推移



海外事業の成長を加速するため、戦略的な新会社2社を設立

サトーグループの今後の成長において、海外事業の成功は欠かせません。この海外事業を強化するため、2015年1月、戦略的な役割を担う新会社2社を設立します。

🚩 SATO Global Solutions, LLC (アメリカ・フロリダ州)

ソフトウェア開発力を強みの核とし、自動認識SI(ソリューションインテグレート)事業を提供する新たなビジネスをアメリカ発で、グローバルに推進していきます。

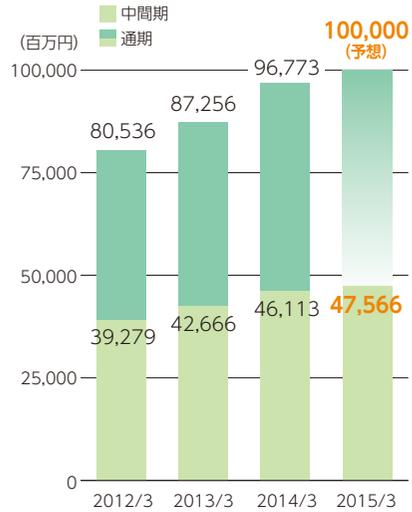
🚩 サトーインターナショナル株式会社(東京)

海外戦略の策定と実行、海外営業の推進、顧客マネージメント、収益力強化などグループシナジーを創出しながら海外事業全般を統括、成長戦略の実行を担います。

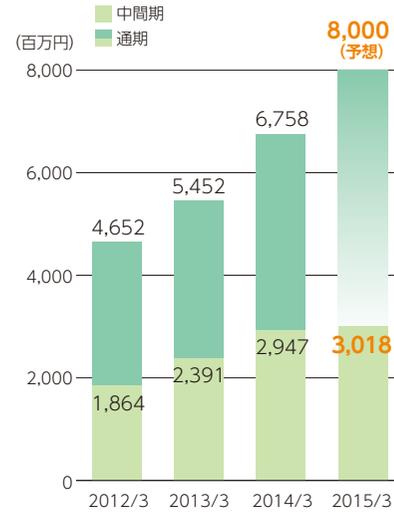


財務ハイライト

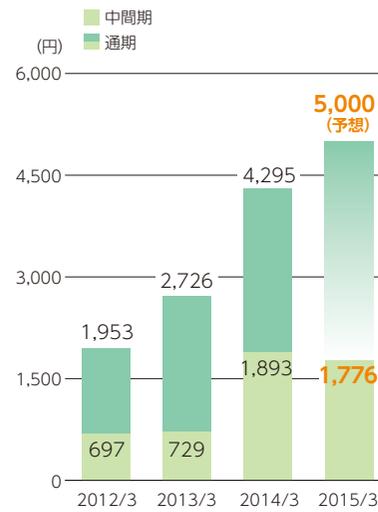
売上高



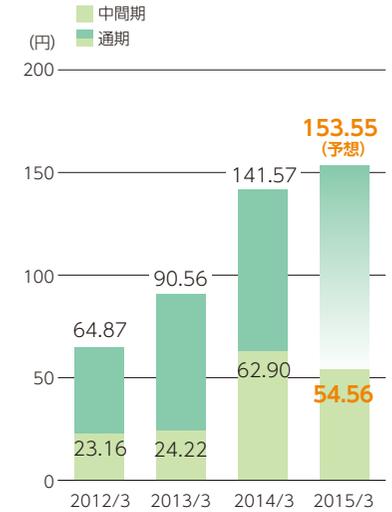
営業利益



当期純利益



1株当たり当期純利益

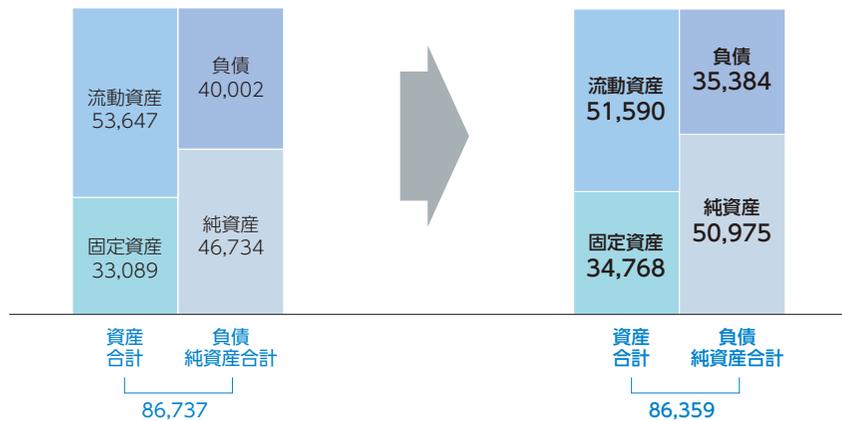


中間連結貸借対照表の概要

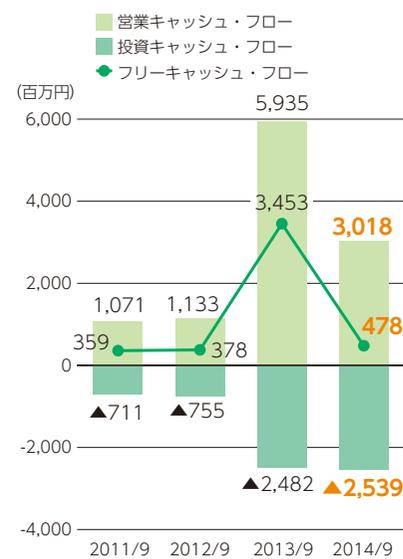
(百万円)

前期末 (第64期)
(2014年3月31日現在)

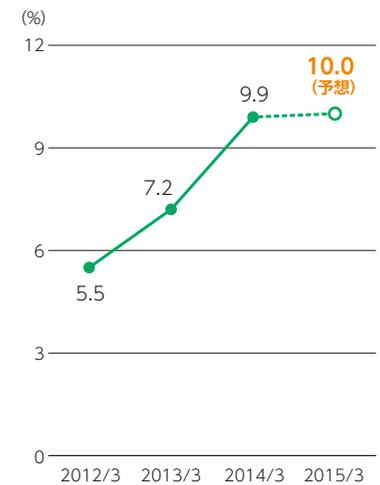
当中間期末 (第65期)
(2014年9月30日現在)



中間キャッシュ・フロー



ROE (自己資本当期純利益率)



こんなところにサトー

サトーグループはバーコードや2次元コード、RFIDなどの自動認識技術^(※)を活用し、製造や運輸など様々な業種の「正確・省力・省資源」「安心」「環境保全」を実現するソリューションを提供し、豊かで持続可能な社会への貢献を目指しています。

(※) 自動認識技術とは、人間を介さずに自動的にデータを取り込み、内容を確認するための技術のことです。

幅広い業種で展開

今回は運輸・倉庫でのサトーの活躍をご紹介します。

新製品



アイポッド タッチ 音声認識と「iPod touch」による画像認識を活用した荷揃えシステム

サトーグループは、ネット通販の物流倉庫などで商品を選び出す作業向けに、人の「声」を「文字データ」に置き換える音声認識と画像認識を活用した荷揃えシステム「AmiVoice iPicking (アミボイス アイピッキング)」を株式会社アドバンスト・メディアと共同開発し、2014年7月より販売を開始しました。

このシステムは、Apple社から販売されているデジタルオーディオプレーヤー「iPod touch」を利用しています。小型・軽量で直接身につけ両手で作業を行うことができるため、作業効率の大幅な向上につながります。iPod touchを利用した音声認識荷揃えシステムは、日本初です。

従来の専用端末機は、十万円を超えるなど高額な上、重いため手首に負担がかかる、画面操作が複雑で作業者の研修に時間がかかるなどの課題がありました。「AmiVoice iPicking」はシンプルな操作で運用できる上、約2分の1の重量のため作業者の負担を減らします。

また、システム導入費も端末料金とあわせて従来比20～50%のコストダウンを実現しています。



ウェアラブルイメージ

運用イメージの例：インターネット通信販売の物流倉庫



2020年英語公用語化に向けて

サトーグループでは、世界を視野に入れた「自動認識ソリューションのナンバーワン企業になる」という経営ビジョン実現への布石として、社員の英語力底上げをはかっています。

英語によるコミュニケーションは国際ビジネスで成功するためには不可欠となるため、2020年には英語を社内公用語とし、国内の全社員が「英語でコミュニケーションができるレベル」になることを目指します。この取り組みを強力に推進するため、2013年8月に英語推進グループを新しく設立しました。その活動の一端をご紹介します。

英語推進グループ

常務執行役員 兼 最高コミュニケーション責任者 (CCO) デフニ テイのもと、3人のメンバーが2020年の英語公用語化に向けて多様な英語教育プログラムを企画、運営しています。

2020年までの目標

- 全社員が日常業務及び会議のコミュニケーションを英語で行うことができる
- 社内で発行される全公式文書は英語で作成する
- 海外で活躍できる人財を多数輩出する



主な英語教育プログラム

- スマートフォン、パソコンを使った英語学習サービスの紹介
- 外国人講師による社内英会話教室
- 全社員を対象に英語力テスト (CASEC*の実施とスコア改善優秀者の表彰) の実施
- 全社員に英語メール (毎日1英単語、英語ブログ、ニュースレター) を配信
- ゲーム、グループワークなどを取り入れた英語でのイベントを定期的開催

*CASEC: 英語コミュニケーション能力判定試験。従来のペーパーテストに比べて短時間で正確な測定が可能。

社員の学習モチベーションを持続させるため、カリキュラム作成の際には「楽しい」と感じさせる学習を意識しています。

(英語推進グループ長 ロバート クー)



英会話教室



10月ハロウィーン英語イベント

サトーホールディングス株式会社
常務執行役員 兼
最高コミュニケーション責任者 (CCO)



デフニ テイ



「流暢な英語である必要はなく、ブロークン・イングリッシュでも良いのです」

社員には、いつもそう伝えていますが、まずは英語で話すことに慣れてもらえるよう背中を押すことが英語推進グループの役割です。

社員の英語の学習意欲はもともと高かったのですが、グループ発足後は社内の英語教材の申し込み数が発足前の11倍に増えました。半年でCASECの点数を200点も伸ばした社員もいますし、英語で朝礼を行うなど部署単位の取り組みも活発化しており、手応えを感じています。

企業の成長にとってグローバル人財の育成は重要課題です。

わたしたちの活動で、その一翼を担っていきたくと思っています。

会社情報

商号	サトーホールディングス株式会社 SATO HOLDINGS CORPORATION
本社所在地	〒153-0064 東京都目黒区下目黒1丁目7番1号
創業	1940年(昭和15年)
設立	1951年(昭和26年)
資本金	8,416百万円
決算期	3月31日(年1回)
連結従業員数	4,243名
連結売上高	475億円(2015年3月期第2四半期) (ご参考)967億円(2014年3月期)

役員 (2014年11月1日現在)

取締役		執行役員	
代表取締役 執行役員社長	松山 一雄	専務執行役員	小瀧 龍太郎
取締役 専務執行役員	山田 圭助	常務執行役員	安江 大道
取締役 専務執行役員	櫛田 晃裕	常務執行役員	宇敷 謙二
取締役	西田 浩一	常務執行役員	デフニ テイ
取締役	土橋 郁夫	常務執行役員	葉山 誠
取締役	鳴海 達夫	常務執行役員	渡邊 信夫
社外取締役	鈴木 賢	執行役員	小瀧 智奈美
社外取締役	田中 優子	執行役員	熊林 知之
社外取締役	石黒 清子	執行役員	リム イー
社外取締役	伊藤 良二	執行役員	笹原 美德
社外取締役	嶋口 充輝	執行役員	千田 浩三
		執行役員	マリア オルセス
		執行役員	小玉 昌央

監査役

常勤監査役	米谷 真
常勤監査役	横井 信宏
社外監査役	松田 千恵子
社外監査役	山口 隆央

株式情報

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式の総数	34,849,523株
株主総数	8,689名

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	毎年3月31日
配当金受領 株主確定日	期末配当 毎年3月31日 (中間配当を行う場合は、毎年9月30日)

1単元の株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先	三菱UFJ信託銀行 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料) ※受付時間：土・日・祝祭日等を除く 平日 9:00～17:00
------	--

上場取引所	東京証券取引所市場第一部 (証券コード：6287)
-------	------------------------------

公告方法	電子公告 ※ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
------	---

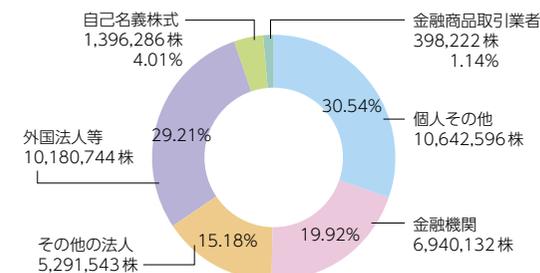
(ご注意)

- 住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。お取引されている証券会社等にお問い合わせください。
- 【特別口座】に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行(株)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取り次ぎいたします。
- 未受領の配当金の支払請求につきましては、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行(株)にお申し出ください。

大株主

株主名	持株数(百株)	持株比率(%)
公益財団法人佐藤陽国際奨学財団	37,862	10.86
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	24,941	7.15
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE 15PCT TREATY ACCOUNT	19,667	5.64
サトーホールディングス株式会社	13,962	4.00
サトー社員持株会	13,381	3.83
株式会社アリーナ	12,544	3.59
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	12,376	3.55
横井美恵子	9,051	2.59
佐藤静江	8,974	2.57
岩淵真理	8,535	2.44

所有株数別株式分布



統合報告書のご案内

アニュアルレポートとCSR報告書を統合し、「統合報告書」としました。ホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

http://www.sato.co.jp/ir/library/annual_report.html



社員いきいき企業を目指し「働き方改革」をスタート！

かねてより社員の健康増進や効果的な業務遂行という観点から、無駄を省いて意味のあることに集中する働き方に取り組んできたサトーグループは、今年、本社ならびに一部拠点において、一歩踏み込んだ「働き方改革」を開始しました。



サマータイム制の導入 2014年 夏

2014年7月より3カ月間、サマータイム制(始業時間を50分前倒し：午前8時～午後4時55分)を実施しました(※)。日の長い夏の間、涼しく集中しやすい午前中を中心に業務を行うことで、労働生産性を高め、就業時間内で仕事を終わらせることを奨励しました。

社内アンケートの結果、約8割の社員が「サマータイム制を導入してよかった」と回答し、「仕事に集中できる時間が増えた」「家族と過ごせる時間が増えた」などの意見が多く寄せられました。

フリーアドレス制を導入

2014年 夏

2014年8月に、本社オフィスを改装し、ワンフロアを打ち抜いたフラットで解放感のあるワークスペースを構築しました。さらに固定の席を設けない「フリーアドレス制」を導入、これにより部門を超えた交流の活発化、仕事の効率化やイノベーションの創出につながっています。



フレックス勤務制の導入 2014年 秋

2014年10月よりフレックス勤務制を実施しています(※)。柔軟な働き方を可能にし、介護・育児と仕事を両立できるワーク・ライフ・バランスを推進することで社員がいきいきと長く働き続ける環境づくりを目指します。

株式市場のプロである 投資ファンドからみたサトー

株式投資で成功するためには、中長期的視点に立って、ビジネスを通じて社会的課題に積極的に取り組み、社会に貢献する企業の株式に投資することが重要です。投資先としてのサトーの魅力は、自動認識ソリューション事業を通じて、顧客業務の正確・省力・省資源に貢献していることに加え、多様な人財を活かすダイバーシティやワーク・ライフ・バランスを積極的に推進しているほか、「三行提報」をはじめとする他社に真似のできないユニークな仕組みによって競争優位性を構築している点にあります。



SRI 社会貢献ファンド(愛称 あすのはね)
朝日ライフ アセットマネジメント株式会社

チーフファンドマネジャー 速水 禎氏

(※) サマータイム制、フレックス勤務制ともに目黒本社と一部の拠点にて運用開始。